

SARS-CoV-2 ラピッド抗原テスト 簡易取扱説明書

※ 本内容は添付文書の抜粋となりますので、詳細は添付文書等をご確認ください。

検体採取と取扱方法は以下の Web サイトでご紹介しています。
https://dianews.roche.com/antigen_at_pharma.html
QR コードからもアクセス可能です。



測定の手順 —鼻腔ぬぐい液—

【準備するもの】

鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブ テストデバイス



抽出用バッファータブ

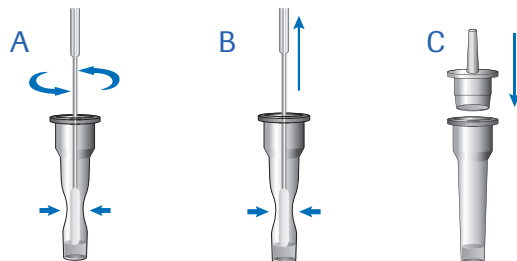
ノズルキャップ



※その他にタイマーをご用意ください。

② 試料の調製

- スワブを抽出用バッファータブのチューブに移し、**最低 10 回スワブをもみほぐします。**
- チューブ側面からスワブ頭部をつまみ、**試料を絞り出すようにスワブを引き抜きます。**
- ノズルキャップをしっかりと閉めます。



最低 10 回もみほぐす

① 検体採取(鼻腔ぬぐい液)

鼻腔ぬぐい液採取用滅菌スワブを開封します。

その際、滅菌スワブの先端に触れないように注意して開封してください。

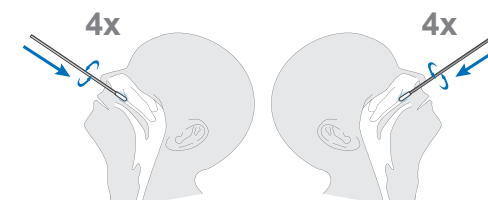
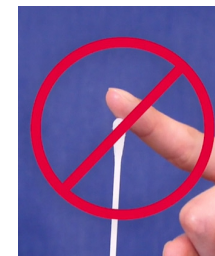
頭部を約 70° の角度になるよう後ろ側に少し傾けてください。

スワブを回転させながら鼻腔約 2cm のところまで挿入します。

鼻腔壁にスワブを 4 回 (約 15 秒間) 回転させ、粘膜表皮を採取します。

滅菌スワブの先端がほかの部位に触れないように注意深く引き出します。

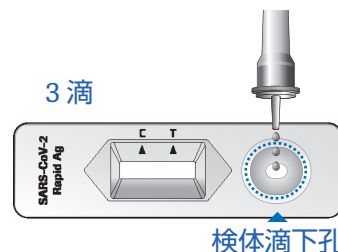
同じスワブを使用して**反対の鼻腔でも同様の操作を繰り返します。**



③ 検体の滴下

テストデバイスの検体滴下孔に真上**垂直**から 3 滴を滴下します。タイマーを 15 分にセットします。

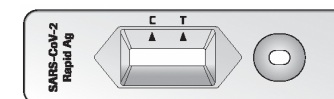
検体滴下後は、テストデバイスを水平な場所に置き、動かさないでください。



④ 測定結果の判定

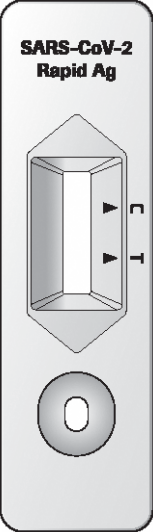
15 分経過後、次ページを参照し判定を行います。尚、判定は 30 分以内に行ってください。

測定時間 15 分
判定時間 15 ~ 30 分



陰性の判定はコントロールラインが早めに出現した場合であっても、必ず 15 分以降に行ってください。また、30 分以上経過した後の判定は正確な測定結果が得られない可能性があります。

結果の判定法 — 判定は 15 ～ 30 分の範囲内であればいつでも可能です。



SARS-CoV-2
Rapid Ag

コントロールライン



C



測定が正しく行われたことを示す

テストライン



T

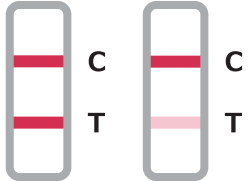


SARS-CoV-2 抗原

+

陽性

コントロールライン (C) とテストライン (T) の **2 本のライン** が出現する。テストライン (T) が薄い場合でも陽性と判定する。



SARS-CoV-2 抗原が陽性であり、感染性を持っていることを示します。

速やかに医療機関を受診してください。

—

陰性

コントロールライン (C) 1 本のみが出現する。



SARS-CoV-2 抗原は検出されませんでした。

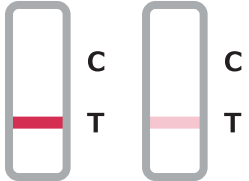
偽陰性（過って陰性と判定されること）の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。

症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。

!

無効

コントロールライン (C) が出現せずテストライン (T) のみ出現したり、1 本もラインが出現しない。



測定は無効です。

再測定を実施してください。

使用後は、ごみ袋に入れ、しばって封をした状態で、自治体のルールに従い廃棄してください。